

手描き京友禅をジーンズに加工、

『本物』の魅力を広くアピール

ドウセンジーンズ

代表 村田康二さん



村田康二さん

“本物”の友禅を知ってほしい

ここ数年来の和柄ブーム的な流れの中で、「友禅ジーンズ」「手描きジーンズ」なるものを目にする機会が増えています。手描き京友禅職人という職業柄、それらに興味を持った村田康二さんが現物をチェックしてみたところ、実際にはそのほとんどが友禅とは呼べない代物。“本物”に携わる人間として、黙って見過ごすわけにはいきません。そもそも友禅にこれといった明確な定義があるわけではなく、一概に間違いとは言えないのですが、“染料で生地を染める”という、染め物の基本さえも無視した“顔料プリント”などは論外です。

「ただ単に和柄を配しただけのものや、顔料系の絵の具で描いたものを、友禅と呼んでほしくない」という思いが、村田さんの職人魂を揺さぶりました。このままでは友禅のことをよく知らない消費者に「友禅とはこんなもの、着物の染め方とはこんなもの」との誤解を与えてしまう…。どうしても納得できなかった村田さんは「じゃあ、自分でやろう」と一念発起。“本物”の手描き京友禅加工を施したジーンズやTシャツを製造販売する、新規事業の立ち上げを決意しました。



手描き京友禅加工を施した『ドウセンジーンズ』

素材選びから徹底的な本物志向で

村田さんは伝統工芸士である父に10年間師事し、手描き京友禅の全般を習得。販売や営業も経験して、友禅界ではそれなりのキャリアを積んでいたものの、起業についてはまったくの素人です。希望とともに不安をも抱えてのスタートではありましたが、ファンドの助成金とハンズオンの指導に支えられながら、「ドウセンジーンズ」は地道に基盤を固めていきます。

巷にあふれる“友禅風”商品との差異化をはかり、本物志向を徹底するために、ベース素材となるジーンズとTシャツ本体の品質にもこだわりました。ジーンズは、縫製技術と

伝統製品の活用

品質の高さに定評のある“ジーンズの聖地”倉敷・児島産のコットン100%デニム地を使用。Tシャツは、オーガニックコットン100%の日本製です。

また、ジーンズの地色はピュアインディゴで染めています。「藍以外の染料が混ざっていると、きれいに色落ちしてくれないんです」と村田さん。実はここが重要なポイントで、一度染めた藍を落として白地に戻し、そこに柄を染め描いていくのがドウセンジーンズの特徴であり、これこそが手描き京友禅の技法なのです。「ジーンズはもともと色が濃いため、その上からいくら染めても柄がわかりません。だから一旦、地色を抜く。でもそれが面倒なので、みんな顔料で描くんですよ」。



Tシャツへの絵付け作業

価値をいかにアピールしていくか

染料を繊維の1本1本にまで染み込ませて生地そのものを染めるドウセンジーンズと、顔料等の絵の具を生地に接着させる方法で柄を描くジーンズとは、着用感がまったく違います。ドウセンジーンズは染料と繊維が一体化しているため非常にしなやかで、生地本来の風合いや通気性を損なうこともありません。それはTシャツも同様。また、摩擦や伸縮にも強いので、手軽に洗濯機で洗えます。一方の顔料系ジーンズは絵の具が生地に貼り付いている状態なので、手触りも着心地もゴワゴワした感じで、柄部分も摩擦などではがれやすい。その違い、つまりドウセンジーンズの良さは実際に着用し、洗濯してもらって初めてわかってもらえるのです。

下絵にはじまり、糸目（防染作業）、藍落とし、挿し友禅、水洗までの工程を、着物の場合と同様に手間暇かけて一着ずつ丁寧に染めていきます。精練や燃糸の違いによる浸透具合の関係で、意外にも綿への加工のほうが絹より手間がかかるといいます。自然乾燥の工程が2回入ることもあって、ジーンズ1本の制作日数は精緻な図柄のもので約12日間。一見しただけではわかり難いこれらの価値をいかに訴求していくかは、今後の重要な課題の一つです。

一年の成果を今後の発展に

ドウセンジーンズを知る人は誰もがその良さを認めますが、まずは存在自体の認知度アップが必要です。そして、実際に手にとってみてこそ良さがわかる商品だけに、より効果的な販売スタイルについても工夫していかなければなりません。現在は工房の応接室が店舗代わりで、予約を入れてから来訪してもらうかたちを取っているため、気軽に商品を見てみたい人にとってはやや不便な面も。オンラインショップの訪問数も思うように伸びず、現状では売り上げの100%がイベントによるものだそうです。

起業から1年余りが経過して、数々の新たな課題が見えてきました。商品を並べて対面販売できる場所の必要性は痛感しており、店舗を借りるのか商品を委託するのか、その方法を慎重に検討している段階です。また、ターゲット層や商品アイテムの見直しも必須。「こちらのこだわりだけで、間口を狭めてはいけないと思っています。たとえばTシャツならオーガニック以外の素材も使いはじめてますし、最初の入り口は入りやすくしなければと。やはり商売として成り立たせないといけないので」と村田さん。軌道修正を含めた今後の展開が期待されるそうです。

事業概要

ドウセンジーンズ

<http://www.dousenjeans.com/>

代表：村田康二

業種：手書き京友禅

創業：平成21（2009）年

住所：〒606-0025

京都市左京区岩倉中町522

TEL：050-3793-2017 FAX：050-3793-2017